

くまもとDXアクションプラン（素案）に関する
パブリックコメントの結果について

令和6年（2024年）3月
情報政策課

1 意見募集期間
令和6年（2024年）1月4日（木）～令和6年（2024年）2月5日（月）

2 ご意見の提出状況
ご意見を提出された方の人数 3名
ご意見の件数 15件

3 提出されたご意見と、それに対する本市の考え方
別紙記載のとおり

（内訳）

【対応1（補足修正）】

ご意見を踏まえて素案を補足修正または追加記載したもの 4件

【対応2（既記載）】

既にご意見の趣旨、考え方を盛り込んでいる、あるいは同
種の記載をしているもの 2件

【対応3（説明・理解）】

市としての考えを説明し、ご理解いただくもの 0件

【対応4（事業参考）】

素案には盛り込めないが、事業実施段階で考慮すべき事
として今後の参考とするもの 9件

【対応5（その他）】

素案に対する意見ではないが、意見として伺ったもの 0件

「くまもとDXアクションプラン(素案)」に関するパブリックコメント
提出されたご意見とそれに対する本市の考え方

項目	ご意見等の内容	本市の考え方(案)	対応内訳
はじめに (策定の背景・趣旨)	1. 策定の背景・趣旨 6行目 「デジタル・トランスフォーメーション」は以下表現が分かりやすいと思います。 「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」	ご意見を踏まえ、「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」に表現を修正します。	対応1 (補足修正)
施策・アクション事業 (7つの基本施策)	2. ①窓口DX 3今後の取組について 「1-7 民間サービス事業者等との連携による手続きのワンストップ化」等の表現を追加すべきと思います。 ※民間サービス事業者(引越時の不動産窓口、ライフライン申込等)との連携による各種行政手続きのワンストップ化の取組により市民、事業者、行政がwin winの関係になる。	窓口DXについては、まずは区役所の窓口業務の改革を行い、書かないワンストップ窓口の実現に向けた検討を進めていくこととしています。いただいたご意見については、窓口DXにおける具体的取組を検討する際の参考とさせていただきます。	対応4 (事業参考)
	2. ②こども・教育DX 3今後の取組について 「2-9子どもの相談環境整備」等の表現を追加すべきと思います。 ※SNS等を活用した子供からの相談環境整備により、迅速できめ細かな対応が可能になると思います。	こどもや保護者を対象としたLINEによる相談窓口を開設しています。また、R6年1月からモデル的にスマートフォンや児童生徒に配布しているGIGA端末などで利用可能なチャット相談をNPO法人と連携し開始しました。これまでの取組として、ご意見いただいた「こどもの相談環境整備」を追記修正いたします。	対応1 (補足修正)
	2. ③保健・福祉DX 3今後の取組について 「3-6 高齢者の見守り支援等へのICTの活用」等の表現を追加すべきと思います。 ※今後増加する高齢単身者、不足する介護人材への対応としてICT機器等を活用した見守り支援を推進する必要がある。	このプランの取組は、毎年度見直しを行っていくこととしており、いただいたご意見については、保健・福祉DXにおける具体的取組を検討する際の参考とさせていただきます。	対応4 (事業参考)
	2④産業・環境DX 「今後の取組」において4-5中小事業者等のDX推進支援が掲げられておりますが、DXの推進と同時に、市の積極的なアプローチにより、セキュリティ体制の重要性に関する認知や体制の構築について、周知・支援が必要と思慮いたします。	ご意見につきましては、中小事業者等のDX推進支援における具体的取組を検討する際の参考とさせていただきます。	対応4 (事業参考)
	2. ⑤都市・交通DX 2 これまでの取組 熊本市電で顔認証の実証実験中です。くまもとDXアクションプランに入らないのでしょうか？	P22 5-3 市電のキャッシュレス化に「令和5年12月から市電の顔認証システム実証実験を行っています。」を記載しております。	対応2 (既記載)
	2. ⑤都市・交通DX 3今後の取組について 「5-5住まい・暮らしに関する情報提供」等の表現を追加すべきと思います。 ※居住地の生活利便性・安全性・交通利便性等についての情報の集約・情報提供により居住誘導地域への居住推進や災害時の安全性確保、高齢者・障がい者等の移動円滑化の推進が図れる可能性がある。	このプランの取組は、毎年度見直しを行っていくこととしており、いただいたご意見については、都市・交通DXにおける具体的取組を検討する際の参考とさせていただきます。	対応4 (事業参考)

	2. ⑥地域・防災DX 2 これまでの取組「3D水害避難シミュレーションを構築しました。」について、もう少し説明がほしいです。 「3D都市モデルを活用し、時系列的な徒歩及び車による住民の避難行動と浸水域を再現する3D水害避難シミュレーションシステムを構築しました。」 ※国土交通省HP参照	ご意見を踏まえ、3D水害避難シミュレーションについて補足説明します。	対応1 (補足修正)
施策・アクション事業 (7つの基本施策)	2. ⑥地域・防災DX 3今後の取組について 「6-8 SNS等を活用した被害状況把握支援システム構築」等の表現を追加すべきと思います。(8Pモデルケースプロジェクトに記載有り) ※災害時において各地域の被害状況を把握する手段として、SNS等を活用した被害情報収集のシステム構築に取り組むべきと思います。(フェイク情報への対応は必要)	このプランの取組は、毎年度見直しを行っていくこととしており、いただいたご意見については、地域・防災DXにおける具体的取組を検討する際の参考とさせていただきます。	対応4 (事業参考)
	2.⑥地域・防災DX 「アプリやデータを活用し、地域活動の担い手確保・地域防災力の向上を図ります。」との目的に賛同いたします。 なお、「これまでの取組」において、「導入しています。」「構築しました。」との記載がされていますが(システムを導入することが目的ではない)、システムの導入により、目的に掲げる「担い手の確保」や「地域防災力」が、どの程度向上したのかを記載いただきたい。	これまでの取組には、施策の目的(地域活動の担い手確保・地域防災力の向上)の達成に向けた手段を記載しているところです。各取組の成果については、毎年度の見直しの中で、評価検証してまいります。	対応4 (事業参考)
施策・アクション事業 (5つの重点プロジェクト)	3. ①行かない・書かない・待たない窓口の推進の■取組について 「⑤民間サービス事業者との連携による業務効率化」等の表現を追加すべきと思います。 ※連携により行政窓口及び民間事業者窓口へ行く回数を減らすことができる。	窓口DXについては、まずは区役所の窓口業務の改革を行い、書かないワンストップ窓口の実現に向けた検討を進めているところです。いただいたご意見については、窓口DXにおける具体的取組を検討する際の参考とさせていただきます。	対応4 (事業参考)
推進に向けて (デジタル人材の確保・育成)	2. デジタル人材の確保・育成 DX推進リーダーの育成はDXアクションプランに欠かせない施策と思います。 さらに、DX推進リーダーのスキル向上にはDX推進リーダー会議などの情報共有の場が有効であると思います。	ご意見につきましては、DX推進リーダーの育成に向けた具体的取組を検討する際の参考とさせていただきます。	対応4 (事業参考)
	2. デジタル人材の確保・育成 DX業務を遂行するのは「DX推進リーダー」ですが、「DX推進リーダー」のスキル把握や必要な部署への配置はマネジメント層が担います。 組織としてのDX力を向上させるためにはDX推進責任者が必要であると思います。	全庁的なDXの推進に向けてはマネジメント層の関与が不可欠であると認識しており、ご意見につきましては本市のDX推進体制を構築する際の参考とさせていただきます。	対応4 (事業参考)

<p>推進に向けて (データの適正かつ効果的活用)</p>	<p>3. データの適正かつ効果的活用 ⑤基幹業務システム標準化の推進 2行目 「統一化によるデータ連携の効率化などにより、新たな施策やアプリの迅速な展開による住民サービスの向上…」について データ連携は、業務効率化に有効な手段ですので、効率化の効率化という意味となり、この表現は適当でないと思います。デジタル庁の「地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化」ホームページの資料 地方公共団体情報システム標準化基本方針の変更の概要(令和5年9月閣議決定)では、 「<POINT②> 新たな国民向けサービスの迅速な提供を担保するため ⇒ 令和7年度(2025年度)末までに、データ要件の標準には適合させ、データ連携を担保」 となっていることから 「データ要件の標準には適合させ、データ連携を担保することにより、新たな施策やアプリの迅速な展開による住民サービスの向上…」という表現でいかがでしょうか。</p>	<p>データ連携の統一・標準化に加え、ご意見のデータ要件の標準適合もまた、新たな施策の展開等に寄与するものであることから、「データ連携の統一・標準化や、データ要件の標準適合などにより、新たな施策やアプリの迅速な展開による住民サービスの向上…」に表現を修正します。</p>	<p>対応1 (補足修正)</p>
<p>推進に向けて (情報セキュリティの確保)</p>	<p>⑥情報セキュリティの確保 「デジタル技術の急速な進展やデータ利活用の拡大に伴い、利便性の高いサービスが次々と創出される一方で、複雑化・巧妙化するサイバー攻撃によるシステム障害や個人情報の漏えいなど、セキュリティリスクは増大しており、情報セキュリティに対する重要性と責任は一層増しています。」との方針については、セキュリティリスクから各種システムを防御することは、市民の権利・利益を守り、行政の安定的、継続的な運営のためにも必要不可欠であることから、賛同いたします。 「具体的取組」にあるように、セキュリティを技術的・人的および組織的に対応することは重要ですが、どれだけセキュリティを強化しても、インシデントの発生可能性を皆無にすることは困難であることから、CSIRTなどのインシデント発生時の体制整備にも賛同いたします。</p>	<p>デジタル技術の急速な進展やデータ利活用の拡大に伴い、情報セキュリティに対する重要性と責任は一層増していると認識しており、DXの推進に不可欠なセキュリティの確保に向けて技術的・人的・組織的な対策を強化・徹底してまいります。</p>	<p>対応2 (既記載)</p>